

# 和ん話んタイムズ

No. 20 2013.8.5

NPO 法人  
ここ掘れ和ん話ん探検隊

## NPO 法人「ここ掘れ和ん話ん探検隊」 パネル展示会を開くにあたり

私たちの NPO 法人は「ここ掘れ和ん話ん探検隊」というユニークな名前の団体です。

定款の目的には、「自然・文化・人などの地域資源を有効に活用し、新しい町づくりに関する事業を行い、地域の活性化と新たな産業づくりに寄与する」ことを謳っています。

目的を達成するために、次の活動を行うこととしています。

- ① まちづくりの推進を図る活動
- ② 社会教育の推進を図る活動
- ③ 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- ④ 環境の保全を図る活動

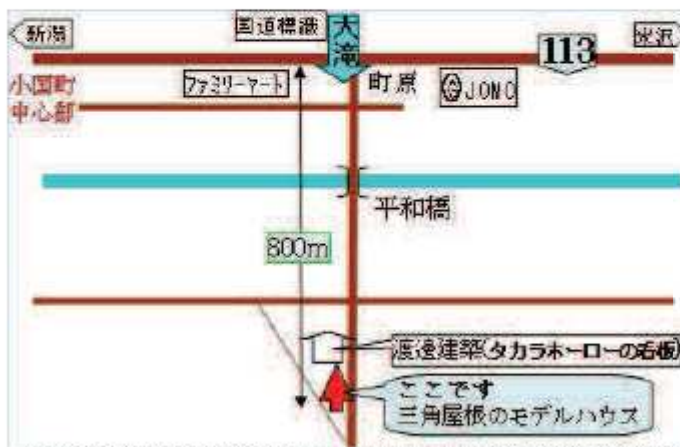
さらに、事業としては、

- ① 新しいまちづくりに関する企画、実施及び情報発信事業
- ② 新しい産業づくりに関する企画、実施及び情報発信事業
- ③ 地域振興並びに特産品等の広告宣伝事業

### これまでの歩み

平成14年、「ここ掘れ和ん話ん探検隊」は小国町の良質な自然環境や地域資源を活用し、新たな産業づくり、交流や体験の受け入れ事業の企画と実践を中心とした活動を展開するために任意の団体として発足しました。常に『小国で生きる、小国を生かす』をコンセプトに単に〈行政主導〉等でなく、民間ベースとしての新たな仕組みづくりに取り組んできました。

平成19年、NPO 法人「ここ掘れ和ん話ん探検隊」を設立して、活動の一層の前進を図ってきました。山形県や小国町、その他の団体からの事業委託の実績なども増え、目的達成に向けた活動や事業は着実に展開されております。



NPO 法人 ここ掘れ和ん話ん探検隊  
999-1337 小国町新原1-2-4 ☎ FAX 050-7507-5955  
✉ kokohorevawaw@pal.plala.or.jp

## これまでの活動・事業のあらまし

- ① 山菜の学校——山菜の採取 山菜の料理法や保存方法の講習 山菜料理による交流会
- ② 町づくり勉強会——講師を招いての勉強会 各種講習会への参加 会員による勉強会
- ③ 健康の森「よこね」指定管理者への応募——  
交流人口を創出するための受け入れ体制を整備するために、2度応募したが不採用となった
- ④ 道の駅案内所の案内業務——  
小国の顔とも言える「道の駅案内所」業務の活性化を図るため
- ⑤ 萱野峠の敷石掘りイベント——  
地域振興と交流人口の増を目指して玉川地域振興協議会と連携して取り組んだ
- ⑥ 越後米沢街道・十三峠交流会の事務局——  
置賜総合支庁が活用連絡協議会として発足したものであるが、自主的団体として「十三峠交流会」が結成され、その事務局を担うことになった。
- ⑦ 小国町商工会からの受託事業——  
地域資源∞全国展開プロジェクト事業で体験型観光商品開発に関わる指導ガイド人調査を委託され、業務を遂行
- ⑧ 山形県置賜総合支庁からの受託事業 2011年（歴史街道・十三峠観光資源活用事業）——地域の「宝」を活かした！観光誘客プログラム創出事業。地域資源のデータベース化・説明板等の設置・ガイド要請講座の実施
- ⑨ 小国町からの受託事業 2012年（森林体験観光推進業務）——  
地域資源や自然環境を活用したイベント等の企画・実施
- ⑩ 小国町からの受託事業 2013年（森林体験観光推進業務）——  
前年に引き続く事業
- ⑪ 小国町からの受託事業 2013年（小国町森林セラピー推進業務）——アテンダントミーティングの事務局運営、森林セラピー事業推進のためのPR活動の実施、森林セラピー体験会の実施。
- ⑫ 小中学校からの講師派遣依頼等への対応—— 「白い森学習」でのパネラー、アドバイスなど特に、野外活動への講師の派遣依頼があります
- ⑬ 「イザベラ・バード in 十三峠」の共催実施——共催し、事務局を担って中心的に活動しています
- ⑭ 越後米沢街道・十三峠交流会のホームページの運営——  
十三峠交流会のホームページ、事務局を担っている「和ん話ん」の内容も載せながら運営しています

## ■ 連携している団体等 ■

- ① 小国町商工会会員
- ② 小国町観光協会会員
- ③ 黒沢峠敷石道保存会賛助会員
- ④ 越後米沢街道・十三峠交流会会員
- ⑤ 日本風景街道パートナーシップ
- ⑥ 横川ダム水源地域ビジョン推進会会員



# 第2回 イザベラ・バードin十三峠

十三の峠を、3日間で歩き通す

135年前の明治11年（1878年）、イギリスの女性探検家イザベラ・バード（47歳）は、横浜から北海道までの旅をし、「日本奥地紀行」（訳者によっては、「日本紀行」）という著書を残している。明治が始まったばかりの日本各地を外国の女性が旅をすることは、通訳兼付け人として一人の男性が同行しているとは言え、易い事ではなかったと思われる。

この旅の途中、イザベラ・バードは、越後米沢街道・十三峠も通過しているのである。紀行文によれば、7月10日に新潟県の黒川村（現胎内市）に泊まり、11日は下関を通り、いよいよ十三峠に足を踏み入れている。この日は鷹巣峠と榎峠を越えて沼に宿泊している。12日は、黒沢に泊まる予定でいくつかの峠を越えたが、黒沢では泊まる所がなくて、暗くなりかけた黒沢峠をなんとか越えて、市野々に泊まっている。13日は、小松に行って宿泊している。

最近、イザベラ・バードの人气が盛り上がっている。紀行文の出版も相次いでおり、書店にもイザベラ・バードについての著書が並ぶようになってきた。

著書だけでなく、記念碑（川西町・上山市・天童市・金山町）や記念館（南陽市）なども作られているし、各地でシンポジウムや講演会等も行われるようになってきている。

## バードと同じ日に同じコースを歩く

小国町は7月12日、13日に通っていることから、『バードと同じ日に同じコースを歩こう！』そしてバードの気持ちの一端に触れることができれば、と企画されたのが、昨年の第1回『イザベラ・バード in 十三峠』でした。県外からもバードファンが集まってくださいました。

今年は、2回目でしたが、前年と同じく雨にたたられました。135年前、バードも、「雨だった」と記しています。それでも、高瀬温泉・梅花皮荘での交流はたいへん盛り上がり、バード談義にも熱が入っていました。



## 小国町から 2つの事業を受託

### 「①森林体験観光推進業務」 「②森林セラピー推進業務」

①は、森林体験や森林学習の企画と実践を行う。森林体験観光メニューの開発なども行う。

②は、セラピーに関するソフト面の充実・展開を図る。アテンダントミーティング事務局の運営。

セラピー体験会の実施。アテンダントとの意見交換。ホームページの充実。などを行う。

両業務で、20を超えるメニューを企画して、すでに半分近くメニューを実施済みです。



野鳥観察会の一コマ

ツリーイング風景

これから予定されているメニューです。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

#### 委託事業「森林体験観光推進事業」・「森林セラピー推進業務」年間計画

時期	事業名	場所	対象者
8月18日(日)	森林セラピーツアー(夏)*	温身平	一般
9月12日(木)	森林(もり)の中学校*	温身平	中学1年生 (小国中学校連携)
9月21日(土)	第3回越後米沢街道・十三峠トレッキング	貝淵峠・高鼻峠・ 朴ノ木峠・萱野峠	一般・親子
10月5日(土)	森林(もり)のたんけんたい	温身平周辺	幼児・小学生(親子) (健康福祉課・教育委員会連携)
10月14日(月)	タネ飛ばしツリーイング	健康の森横根	一般・親子
10月19日(土)	第4回越後米沢街道・十三峠トレッキング	大里峠・榎峠・鷹巣峠	一般・親子
10月26日(土)	紅葉ウォーク in 温身平	温身平	一般
12月21日(土)	しめ縄作り	開発総合センター	一般・親子
2月15日(土)	つめかんじき作り	開発総合センター	一般・親子
3月2日(日)	メープルサップ採り	開発総合センター、 神明山周辺	一般・親子
3月8日(土)	黒沢峠スノートレッキング	黒沢峠	一般・親子

※ \*印は森林セラピー推進業務、無印は森林体験観光推進事業での計画です。

※ 計画の内容・日程等は変更になる場合があります。